



【人生を変えてくれたペンギン】

トム・ミッチェル／著
ハーバーコリンズ・ジャパン

488.6ミ

砂浜で重油まみれのペンギンが、数百羽、死んでいた。その中でただ一羽生き残ったペンギンは、若き教師に助けられ、学校の屋上で暮らすようになり…。ペンギンと著者の絆を描く実話。



しよめい
書名

ちよしゃめい
著者名

【Croak! ー世界の不思議なカエルー】

黒川 宇吉／著
実業之日本社

487.8ク

きれいなカエル、おもしろいカエル、ヘンテコなカエル…。個性的でミステリアス！世界各国のカエルの生態を、擬人化したシュールなイラストとともにご紹介。



しゅつぽんしゃ
出版社

ぶんるい
分類

暑い夏をのりきるために、図書館の「涼をよぶ本」をご紹介します。

- ・「妖怪絵巻 ー日本の異界をのぞくー」 小松 和彦／監修 平凡社 721.2 ヨ
- ・「どんぶり金魚の楽しみ方」 岡本 信明／著 池田書店 666.9 オ

【文学】

- ◇「葦の髄から」 山口 雅也／著 西日本新聞社 914.6 ヤ
- ◇「イートン校の2羽のフクロウ」 ショナサン・フランクリン／著 エクスナレッジ 936 フ

【歴史】

- ◇「日本ヒスイの本」 北出 幸男／著 青弓社 210.3 キ
- ◇「戦国の合戦と武将の絵事典」 高橋 伸幸／著 成美堂出版 210.4 タ
- ◇「くらべる時代 ー昭和と平成ー」 おかべ たかし／文 東京書籍 210.7 オ

【郷土】

- ◇「神の島沖ノ島」 藤原 新也／著 小学館 K748 フ

【料理】

- ◇「薬膳茶のすべて」 辰巳 洋／著 緑書房 ｸｼｸｼ 11 489.5 タ
- ◇「野菜が主役の晩ごはん」 青山 有紀／著 集英社 ｼﾞｮｸｼ 596.3 ア
- ◇「かんたん&おしゃれなバーベキューの人気レシピ」 BBQ レシピタンク／監修 立東舎 ｼﾞｮｸｼ 596.4 カ

【その他】

- ◇「憲法の時間」 井上 典之／編 有斐閣 323.1 ケ
- ◇「洞窟ばか」 吉田 勝次／著 扶桑社 454.6 ヨ
- ◇「人生が変わる、読むやせぐせ」 沢田 大作／著 主婦の友社 595.6 サ
- ◇「朽ちゆく世界の廃墟」 自由国民社 748 ク





【八月は冷たい城】

恩田 陸／著 講談社 YA F オ

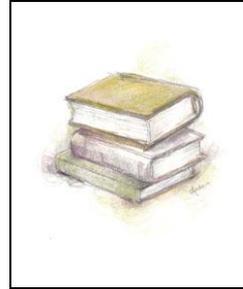


夏流域での林間学校に初めて参加する光彦。少年 4 人を迎えたのは、首から折られた 4 つのひまわりの花だった。不穏な空気が漂うなか、互いに疑心暗鬼をつのらせる卑劣な事件が続き…。

【金魚たちの放課後】

河合 二湖／著 小学館

YA913 カ



三度目の転校。新しい友だちに案内された不思議な場所は、金魚の畑だった。東京の外れの金魚の街。生き物とつきあうのが苦手な少年や、金魚大好きな少女たちの発見と成長の物語。

書名

【新聞力】

著者名

齋藤 孝／著

出版社

筑摩書房

分類

YA070 サ

情報感度が上がり、問題解決能力も鍛えられる。グローバル時代にこそ必要な教養、それが新聞力。新聞を読むことで身につく力、効果的な新聞の読み方、活用のしかたについてコンパクトにまとめる。

【ミスターオレンジ】

トゥルース・マティ／作 朔北社 YA949 マ

1943 年のニューヨーク。八百屋の少年ライナスは、オレンジを注文する画家と親しくなり、彼を「ミスターオレンジ」と呼ぶ。ナチスが支配するヨーロッパから逃げてきたその画家との出会いが、ライナスを大きく変え…。

【10 代からの哲学図鑑】

マーカス・ウィークス／著 三省堂 YA100 ウ

知識って何？ 現実って何？ 心って何？ 論理的思考って何？ 認識論、形而上学、心の哲学など、何世紀にもわたる人類の思索と叡智を、豊富なビジュアルを交えてわかりやすく解説します。はじめて学ぶ哲学ガイドブック。

【放課後の厨房男子】

秋川 滝美／著

幻冬舎

YA F ア

創立 102 周年を迎えた県立末那高校は男子校で、部活動の主流は運動部。料理好きの先輩が立ち上げた通称「包丁部」は、常に部員不足で存続の危機に晒されている。新人部員を獲得しなければ、と部員たちが目を付けたのは…。

【What is 和食 WASHOKU?】

服部 幸應／監修

ミネルヴァ書房

YA596.2 ホ

暮らしに根付く「和食」を、一汁三菜、郷土料理やおもてなし、世界にひろがる「WASHOKU」といった切り口から、豊富なイラストや写真とともに英文対訳付きで紹介する。楽しくつくれるレシピも収録する。

【13 歳からの夏目漱石】

小森 陽一／著

評論社

YA910 ナ

戦争の時代からの問い、恋愛問題の当時と今…。夏目漱石の世界を再発見！ 夏目漱石の文学的生涯を解説し、その時代と作品について考察する。2016 年 8 月開催の「中高生のための漱石講座」の内容をもとに書籍化。

【なぜこう見える？ どうしてそう見える？〈錯視〉だまされる脳】

新井 仁之／監修

ミネルヴァ書房

YA145.5 ナ

古代の建築のなかで、ファッションやアートで、また交通事故を減らすためなど、錯視はさまざまなところで活用されています。その歴史や技と、急速に解明されつつある最先端の錯視研究を、カラーの図版や写真を盛り込んで紹介。

